



やまんばまつり

石見地域に伝わる、全国でも珍しい「心優しいやまんば」の伝説をもとに開催されるお祭り。趣向を凝らした山車の競演をはじめ、各イベントもある。

■日時：2013年8月14日(水) 午後6時半～

■場所：矢上小学校 校庭

－お問い合わせ－

石見やまんば祭り実行委員会 TEL：0855-95-1044

(写真提供：邑南町商工会)

第38回 陰陽選抜神楽競演大会

吉賀町商工会青年部が主催する伝統ある神楽大会。島根県と広島県から選り抜きの神楽団（11団体）が出演。迫力ある舞は必見。

日時：2013年8月24日(土) 午後3時半 開場

■場所：吉賀町民六日市体育館

－お問い合わせ－

吉賀町商工会青年部 TEL：0856-77-1255

(写真提供：吉賀町商工会)



しまね 商工連

主な
内容

主な内容

- 第53期 島根県商工会連合会通常総会開催(2)
- 新専務紹介.....(2)
- 経営支援課よりおしらせ
商工会の頼れる経営サポート!!(3)
- 青年部・女性部連合会 通常総会(4)
- 平成25年度 商工会地域貢献計画(5)
- 石見事務所だより 漁船クルーズ (温泉津町)(6)
- 人事異動.....(7)
- しまね発 がんばるひと (邑南町)(8)

No. 296

平成25年6月21日発行

発行/島根県商工会連合会

松江市母衣町55番地4

TEL：0852-21-0651

石見事務所

TEL：0855-22-3590

URL <http://shoko-shimane.or.jp/>

E-mail: shokolen@shoko-shimane.or.jp

印刷：株式会社島根県農協印刷

— 地域に密着し地域を支える商工会の確立に向けて —

平成25年度（第53期） 通常総会を開催

平成25年5月28日、商工会館2階大集会室に於いて、平成25年度第53期通常総会が開催されました。

総会では、平成24年度事業報告及び収支決算、平成25年度事業計画及び収支予算等が原案どおり可決承認されました。また、役員の一部改選が行われ、井上重忠理事の後任に森下勝義氏（桜江町商工会長）が、和田誠理事の後任に木村孝司氏（県青連会長）が選任されました。

石飛会長あいさつ

商工会を代表して国の産業構造審議会中小市街地活性化部会に委員として参加し、議論を交わして参りました。中心市街地活性化法が平成18年に改正されましたが、事業が十分成果を挙げているとはいえず、再活性化に向けて、最終とりまとめ案を提言いたしました。

我々中小零細企業を抱える商工会地域でも、この中心市街地活性化事業が簡単に取り組めるように意見を申し上げ、こちら

の意向を改正案に組み込んで頂きました。人口3万人規模でも、この事業へ簡単にエントリーできるよう、これから制度設計に向け具申して参ります。各地域におかれましても、街づくり、コミュニティ事業に、産業振興に精を出して頂きたく存じます。私も先頭に立って行動して参りますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成24年度 事業報告

平成24年度において連合会では、地域に密着した支援体制の整備に向けて、平成23年度に引き続き連合会長が全商工会を訪問し、我々が実践すべき行動について会員の皆様方と意見交換をおこないました。地域に密着した活動の中でも、地域貢献事業は最重点項目であり、昨年11月に開催された商工会全国大会において美郷町商工会に「21世紀商工会グランプリ」が贈呈されました。この活動が全国に認められたことを誇りに思うと同時に、地域にとって商工会がいかに大きな存在であることを証明されたものでありました。11月に開催された「商工会し

まね県大会」では、小規模事業者を支援する商工会の役割を再認識するとともに、地域密着型商工会への取り組みの強化が図られました。中小企業支援ネットワーク強化事業、経営革新事業、専門家派遣事業など活用しながら企業ニーズにも迅速に応えました。しまね地域資源活用促進事業では、地域資源を活用した特産品のための販路開拓の調査研究・取組みを支援しました。

平成25年度 事業計画

本会では平成23年度から27年度までを対象期間として『地域に密着し地域を支える商工会を目標して』を行動指針に、地域密着型の支援体制を構築し産業振興と地域振興を両輪として活動しており、中間年である本年度は行動指針に対する検証を行い、今後の対応について検討していきます。

経営改善・事業再生の支援として「経営安定支援事業」「経営力強化アドバイザー派遣事業」等の従来の事業とともに、今年度の新規事業に、新事業展開・経営力強化支援として「中小企

業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」「地域力活用市場獲得等支援事業」「消費税軽減策窓口相談事業」「新商品開発・販路開拓支援として「地域力活用市場獲得等支援事業」「経営力強化専属アドバイザー」をメニューに加え、関係支援機関と連携し事業活動を支援します。

就任あいさつ

島根県商工会連合会

専務理事 高橋万夫

この度、3月26日の臨時総会において専務理事に選任されました高橋万夫です。頂いた役職の重さに身の引き締まる思いでございます。歴代の会長・専務理事が残された数々の功績を基盤として、小規模企業者の皆様方と共に商工会と地域の発展に尽くして参りたいと存じます。これからの商工会の運営について一言申し述べさせていただきます。

第一は、私が思う最重点課題は、会員企業が持つ経営課題や問題を解決するため、きめ細かな「巡回指導の徹底」を柱に職員の質の高い経営支援を講じて参りたいと思います。

昨年、「中小企業経営力強化支援法」が施行され、今まで商

工会の聖域であった企業支援を金融機関や税理士事務所等が国の認定を受ければ、商工会と同等な役割を果たすことが出来るようになりました。これは、それぞれの認定機関が企業のために競争して支援を行ない、必要のないところは去って行くというサバイバルが始まりました。

商工会は、地域の経済団体として、これまで培ってきた企業支援のノウハウを最大限発揮し、企業に、やっぱり商工会に相談して良かったと言ってもらえるような存在価値のある体制をつくって行かなければならないと思います。

第二に、平成22年に策定した「地域に密着し地域を支える商工会を目標して」行動指針」の成果に向けて、我々が実践すべき行動を、今までの3年間の行為について検証し、更なる地域貢献事業活動をアピールしていきたいと思っています。

これらの活動を通じて、21の商工会と一体となって島根県の産業振興並びに地域振興の発展に貢献していきたいと決意を新たにしております。今後とも会員皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

商工会の頼れる経営サポート！！

～商工会は様々な場面にあわせて、皆様をサポートします。ぜひご相談を！～



- ・大型店の出店で売上が下がり困っている
- ・利益率が低くて売れても儲からない
- ・銀行から経営改善計画の提出を求められた、どうやって作って良いか分からないが…
- ・取引先が売掛金を払ってくれない、資金繰りが大変なのに…

経営指導員が親身になって相談に乗ります。そして必要に応じ、皆さんの悩みを解決してくれる様々な分野の専門家(中小企業診断士、公認会計士、ITコーディネータ、デザイナー、弁護士、経営コンサルタント etc)を紹介します。一緒に頑張りましょう！



- ・地元の地域資源を活用した新商品を開発しようと思っているけど、何か補助金があれば助かるなあ…
- ・新しい分野の事業にチャレンジしたいけど、出来るだけ初期投資は押さえないなあ…

経営指導員が親身になって相談に乗ります。それなら、御社にぴったりの助成金があります。試作品開発や販路開拓の経費を助成できます。



自分のスキルを活かして会社を立ち上げようと思うけど、どうしたら良いか分からないなあ…

経営指導員が親身になって相談に乗ります。基礎からの知識を学ぶ研修や、ビジネスプラン作成支援など創業に向けた取り組みを支援します。



上記はほんの一例です。

他にも様々な支援メニューで皆様の経営をサポートします！

小さなことでも構いません。お気軽に商工会までご相談下さい。

費用
無料

商工会は行きます 聞きます 提案します

お近くの島根県下商工会へ

平成25年度
県青連・県女性連

通常総会
指導者研修会
を開催

青年部連合会

県商工会青年部連合会は平成25年5月9日、くにびきメッセにおいて、平成25年度（第47期）通常総会を開催し、任期満了に伴う役員の変更を含め、全議案原案どおり可決承認されました。

新会長には川本町商工会青年部の木村孝司さんが就任されました。



県下から約100名の部員が集まりました

総会後に催した指導者研修会では、全国商工会青年部連合会相談役の宮本周司氏による講演会を開催し、「自律と自立」小さな企業が未来を創る」と題し、本業と青年部活動の両立に対する熱い思いを語られました。



講演する全青連の宮本周司相談役

【新役員】

会長	木村 孝司(川本町)	理事	高橋 大輔(雲南市)
副会長	尾添 大祐(出雲)	安達 徹朗(東出雲町)	
	権田 友和(まつえ北)	大森晃一郎(飯南町)	
		伊藤 淳(斐川町)	
		安達 智一(銀の道)	
		上林 伸二(邑南町)	
		久保 勝規(美濃)	
		平木 英治(西ノ島町)	
		伊津 通(石央)	
監事	服部 重雄(隠岐の島町)		

【平成25年度主要事業】

- ▼県大会（川本町）
8月24日(土)
- ▼中四国交流会（高松市）
11月2日(土)
- ▼全国大会（さいたま市）
26年2月4日(火)・5日(水)

女性部連合会

県商工会女性部連合会は平成25年5月8日、玉造温泉「玉造グランドホテル長生閣」において県内各地から250名を集めて通常総会、指導者研修会を開催しました。

通常総会は、平成24年度事業報告、収支決算報告及び平成25年度事業計画、収支予算等について審議を行い原案どおり可決承認されました。



指導者研修会は「主張発表大会島根県予選」と「講演会」を行いました。主張発表大会では各ブロック代表5人が女性部活動を通じて日頃の思いを主張されました。結果、斐川町商工会女性部の青野幸子さんが最優秀賞に輝き、9月鳥取県米子市で開催される中四国ブロック大会に出場されることとなりました。

【主張発表大会結果】

- 最優秀賞 青野 幸子(斐川町)
- 優秀賞 白築 元子(雲南市)
- 優良賞 石原 富江(東出雲町)
- 三好須美子(川本町)
- 斎藤 峰子(美濃)

【平成25年度主要事業】

- ▼中四国交流会（鳥取県）
9月4日(水)・5日(木)

安心の大型補償&集団団体割引

西日本自動車共済（経済産業局認可）の自動車共済

★大型補償 共済金額「無制限」

・人身傷害共済・対人賠償共済・対物賠償共済

★集団団体割引（商工会会員限定）

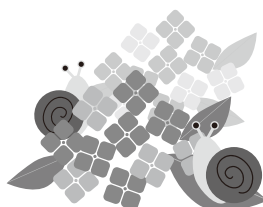
・島根県下 各商工会の会員のお車のほか役員・従業員（同居の親族を含みます。）が所有されるお車に適用

西日本自動車共済協同組合

島根県支部：松江市西津田 5-1-7 TEL0852-26-5270

本部：福岡市博多区東比恵 2-15-25 TEL092-441-5901

承認番号 NJ720.1205.0019.999999-1205(1)10000 部



- ▼全国大会（愛媛県）
10月17日(木)・18日(金)
- ▼ビーチバレー大会
9月1日(日)
- ▼経営セミナー
9月下旬～10月初旬開催
- ▼女性部員の集い
11月12日(火)

平成25年度

商工会地域貢献計画

商工会は、長年にわたり地域貢献活動の担い手としてその役割を果たしてきていますが、対外的PR等パブリシティ活動については十分でない現状にあります。

このような中、各商工会は、推進している地域貢献活動を「商工会地域貢献計画」として対外的、積極的にアピールし、地域における商工会の存在価値を高めていく取り組みを始めていきます。

本誌では、商工会ごとにその計画を紹介していきます（順序不同）。

まつえ北商工会

◆頑張る企業・事業者の支援

【1】経営支援活動をより活性化し、地区内産業の発展を促すことにより地域全体の振興を図る

①会員事業所を中心に、地区内商工業者を訪問し、経営者の

パートナーとしての信頼関係を構築する

②経営に関する相談役として、税務・記帳・融資相談・労働関係をはじめ、新規創業や新商品の開発などの支援に努める

③国・県・市等が行う中小企業支援施策を活用し、各種補助制度の有効活用を促す

【2】地域資源を活用した事業支援

①農水商工連携による企業支援
②地域の特徴ある資源を活かしたもののづくり支援

◆元気のある地域づくり

【1】観光振興による地域の活性化

①行政等の各種団体と連携し、地区内観光資源の発掘とPR活動に取組み、交流人口の増加を図る

②半島部の民宿・旅館・飲食業に対する新サービス提供等へのアドバイス

【2】買い物弱者対策事業支援

①空き店舗を活用した創業支援
②移動販売車による事業展開の支援

③宅配システム構築に向けての研究

【3】コミュニティ事業運営のサポート

①地区内コミュニティ活動への参加・協力（イベント等）
②コミュニティビジネス化へのアドバイス

吉賀町商工会

◆頑張る企業・事業者の支援

【1】地域産業振興支援
①地域資源を活かした特産品の開発、販路拡大支援
②吉賀町特産品の「地域ブランド化」に向けた体制整備支援
③少子高齢化、人口減少に対する対策

○起業・創業の促進や働き場の確保に努めます。
○地域コミュニティ活動へ対する支援の強化を図ります。
○地元の中核的企業との懇談会を開催します。

【2】巡回訪問の強化

①経営指導員一人当たり350件以上

【3】中小企業者の資金繰り対策事業

①「金融円滑化法対応特別相談窓口」を設置し、万全の相談体制をとるとともに、経営改善・

事業再生等の取組や資金繰りについて支援を行います。

【4】地域商店街の活性化

①地域商店街の活性化を図るため、スタンプ会組織等の連携強化を支援します。

②空き店舗等を利用した高齢者ふれあいサロンやチャレンジシヨップによる創業支援を行っています。

【5】買い物弱者不便対策

①買い物弱者不便対策として、関係機関と協議し有効的な仕組み作りについて取り組みます。

◆元気のある地域づくり

【1】人材育成

①「よしか立志塾」を開催し、地域の経済を担い、活力のある経済環境を再構築する人材の育成を推進します。

【2】定住促進・少子化対策

①独身男女の「出会いの場」を積極的に提供し、少子化克服に向けた取り組みを推進します。

【3】地域イベント開催及び協力

①夏祭り・農業文化祭などの、町内イベントの開催支援や陰陽神楽競演大会などの文化・観光イベントを実施します。

社員の皆様の福利厚生をサポートします！

（一財）島根県東部勤労者共済会
〒690-0836 松江市母衣町55-4 松江商工会議所ビル2階
TEL: 0852-28-6555 FAX: 0852-28-6575
WEB: <http://www.joymate.or.jp/>

健康診断
6,000円補助

各種
チケット
購入補助

旅行
割引

会費は
1人月額
1,000円

割引指定店
割引

永年勤続
5年に1度
5,000円～
10,000円
給付

その他
祝い金・見舞
金等給付

（一財）島根県西部勤労者共済会
〒697-0026 島根県浜田市田町1711 みりのりやビル2階
TEL: 0855-23-5365 FAX: 0855-23-5389
WEB: <http://www.sw-kyosai.or.jp/>

石見事務所 だより

海から見た世界遺産・石見銀山。
その鉱山発見の海路を体験。

絶景！
世界遺産
[沖泊-鞆ヶ浦]
漁船クルーズ
銀の道商工会



漁船クルーズ 運航について

期 間：平成25年
7月20日(土)～8月25日(日)
[1日3回出航] 9:30/13:30/18:30
料 金：大人 1,800円 小人 800円
集合場所：温泉津ゆうゆう館
-ご予約・お問い合わせ-
銀の道商工会
050-3784-0955 (要予約)

銀の道商工会では、「大田市観光キャンペーン事業」の一環として、今年も温泉津港を発着点に石見銀山の積出港だった沖泊や鞆ヶ浦などをめぐる漁船クルーズを運航します。この漁船クルーズは昨年、石見銀山の世界遺産登録5周年を盛り上げようと、商工会を含めた町内の官民でつくる「温泉津世界遺産登録5周年事業実行委員会」が始めた企画です。

クルーズは、普段乗ることのできない底引き網漁船を改装して使用します。また、クルーズをより楽しんでいただくこうとクルーズ船には商工会が実施した「観光ガイド養成講座」を受講した観光ガイドが一緒に乗船し、往時の銀の積出港や博多の商人・神谷寿禎が海上から輝く仙の山を見たと言われる松ヶ鼻の沖などを案内してくれます。

初の昨年は、117回の運航で乗船客は912人(大人840人・小人72人)の乗船があり、乗船客からは様に好評を得ていました。県内からの乗船客はクルーズ乗船の目的で来町される方が多かったことと温泉客からは温泉津滞在中の観光客が増えたことに対し満

小口追認保証制度【かなえ】

当制度は、中小企業金融円滑化法終了後の対応策（出口戦略）として創設したものです。迅速かつ簡便にご利用いただける制度ですので、ぜひご活用ください！

【当制度のポイント】

ポイント1	簡便保証によるスピーディな資金対応
ポイント2	資金調達コスト低減を目指し、固定・低金利を実現 責任共有対象外:年1.6%・責任共有対象:年1.8% ※別途保証料がかかります。
ポイント3	融資限度額 1,000万円(期間7年以内)
取扱期間	平成24年7月1日～平成26年3月31日

詳しくはお近くの商工会
もしくは保証協会までお
気軽にお問い合わせくだ
さい。



マスコットキャラクター
かなえさん



島根県信用保証協会

本店営業部 0852-22-2837 出雲支店 0853-21-4998
浜田支店 0855-22-0833 益田支店 0856-22-4567



退職(平成25年3月31日)

○事務局長(2名)

三島浩司(まつえ南)

○経営指導員(2名)

杉谷博章(雲南市)

坪倉一成(飯南町)

○商工会指導員(2名)

高橋万夫(県連)

若林貞二(県連)

○指導職員(2名)

秋原和恵(まつえ南)

大谷道子(美濃)

採用(平成25年4月1日)

○事務局長(2名)

内田 豊(まつえ南)

湯浅 修(桜江町)

○経営指導員(4名)

安達寛樹(まつえ北)

石田葉子(奥出雲町)

藤村悠太(雲南市)

檜谷行宏(吉賀町)

○指導職員(4名)

朝倉浩士(まつえ北)

岩田由美子(まつえ南)

伊帳田歩美(奥出雲町)

花本博美(美濃)

異動(平成25年4月1日)

○経営指導員(6名)

長岡 誠 (奥出雲町→東出雲町)

飯塚勝巳 (邑南町→雲南市)

足立年永 (まつえ北→飯南町)

島田長弘 (県連→邑南町)

堀越 健 (津和野町→美濃)

山平太郎 (吉賀町→津和野町)

○専門経営指導員(3名)

的場秀夫 (県連→石見事務所)

廣富雅昭 (東出雲町→県連)

植田尚樹 (美濃→県連)

○商工会指導員(2名)

葛西 章 (石見事務所→県連)

麻布公昭 (雲南市→県連)



小さな負担・大きな安心

県共済の火災共済

火災事故のほか落雷、破裂爆発、風災、雪災の自然災害も担保します。

お申し込み、ご相談は 県下各商工会へ
島根県火災共済協同組合
☎0852(21)0249

「地球にやさしい企業」として
お客様の期待に
品質と信頼で応えます

環境にやさしい
植物油インキを使用した
印刷物の制作に取り組んでいます。



植物油インキを使用した
環境にやさしい印刷物は
このマークが目印です。



責任ある森林管理のマーク

本社・斐川工場
品質マネジメントシステム
ISO9001:2008
環境マネジメントシステム
ISO14001:2004
認証取得

プライバシーマーク
認定取得

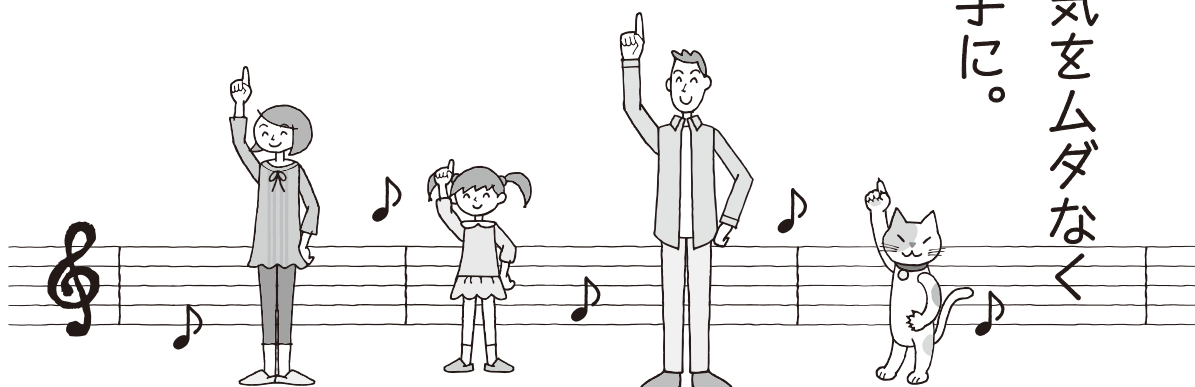
FSC® COC
認証取得

挑戦と創造で地域と情報をネットする



株式会社 島根県農協印刷

本社 ● 松江市浜乃木2丁目10-52 TEL(0852)21-3476 FAX(0852)21-3866
斐川工場 ● 出雲市斐川町坂田564 TEL(0853)63-3476 FAX(0853)63-3855
出雲営業所 ● 出雲市斐川町坂田564 TEL(0853)63-3476 FAX(0853)63-3855
浜田営業所 ● 浜田市下府町880-1 TEL(0855)24-8227 FAX(0855)24-8223
会館事務所 ● 松江市殿町15(島根JAビル別館1F) TEL(0852)31-3611 FAX(0852)24-1315
広島営業所 ● 広島市中区舟入南1-10-10 横田ビル1F 大村印刷株式会社内 TEL(082)296-0130



♪ ～ しょうね 省エネ らるら ひと工夫



省エネひと工夫 洗濯はまとめて洗いで回数を少なく。

少量の洗濯物を毎日洗うよりも、洗濯機の容量に合わせて洗濯する回数を
少なくした方が省エネです。

中国電力株式会社

▼ジェラートアイス



ちびチーズケーキ▼



ミューイの森牧場



「昔の牛乳」「懐かしい牛乳」を知って欲しいという思いから、古くて新しい酪農を蘇らせることを目標に自然放牧酪農を始めた。

県西部に位置する邑南町で、三六五日24時間、大自然の中で牛を放牧し、日本に数件しかないという自然放牧酪農を営んでいるシックス・プロデュース有限公司さん。自然放牧牛から搾乳した牛乳『四季のめぐみ』や、またその牛乳を使用した乳製品『四季のプリン』『ちびチーズケーキ』『ジェラートアイス』などの製造・販売をしています。

牛舎のない 牧場

今日しか 飲めない牛乳

自然放牧牛の特徴は、自然の草花を餌としていることから、四季によって食べる餌が変わること。そして人間にも食べ物の好みがあるように、牛にも食べ物の好みがあり、牛によって食

しまね発

がんばるひと

島根県内で頑張る事業所や、元気な人を紹介します！



洲濱正明社長

シックス・プロデュース有限公司

邑智郡邑南町矢上3119-3 香木の森公園横

(ジェラテリアカフェ「ミューイ」も同住所)

0855-95-0118

[HP]

<http://www.sixth-produce.co.jp/>

[Facebook]

<http://www.facebook.com/sixth.produce>

昨年10月は「島根県産品展示商談会」へ出展。そして今年2月には東京ビッグサイトにて三日間に渡り開催された「グルメ&ダイニングスタイルショー」で

しかし、こうして牛乳や乳製品の製造はしているものの、なかなか販路開拓の成果に繋がらず、悩んでおられました。そこで商工会が実施する、※しまね地域資源活用推進事業の販路開拓支援を受け、主に展示会への出展に力を入れ販路拡大を目指しました。

県外へ 販路拡大



べる草花が違うこと。つまり、春夏秋冬、牛ごとに食べる餌が違ふことで、牛乳の味、風味、色に変化が出てくるのです。それが、昔懐かしい牛乳『四季のめぐみ』です。

そして自然放牧牛乳は日に日に味の変化があることも特徴のひとつです。買ったその日と、二三日冷蔵庫に置いていたものとは、味は変わり、その日その時しか飲めない牛乳、つまり「今日しか飲めない牛乳」なのです。



自然放牧牛乳『四季のめぐみ』

現在、県内では邑南町にあるジェラテリアカフェ「ミューイ」やスーパーでの店頭販売、ネットショップでの販売を行っています。また展示会への出展をきっかけに、県外からのイベント出店の依頼が増え、物産展

約三万人の来場者の中で商品のPRをされました。洲濱社長が自ら会場に立ち、来場者から直接受けた反応、商品への感想やアドバイスを頂いたり、そして会場で成立した商談もあり、この展示会への出展は、シックス・プロデュース有限公司としての販路の拡大だけでなく、洲濱社長にとってとても自信に繋がるものになりました。

等へ積極的に参加し販売しています。今年5月には東京にある「アンテナショップ」にほんばし「島根館」での催事にも参加されました。またホームページやフェイスブックを活用しての宣伝や、消費者からの意見感想を取り入れることで、消費者から求められている新商品の開発も行っています。

※しまね地域資源活用推進事業
地域資源を活用した特産品の販路開拓などの支援や調査研究を行う事業。

農業の明日をつくる メインバンク

農工商連携に取り組み、6次産業化を目指します。

